

【実施区域・面積】

京都府、 0.21ha

【生態系タイプ】

二次草原・草地、水田

【実施区域の状況】

本サイトは、京都府相楽郡南山城村高尾の標高290mに位置する水田（谷津田）である。水田は上下2枚に分かれており、湛水部、非湛水部、土手部で構成されている。創出した湛水部では、トノサマガエル、アマガエル、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエルなどのカエル類の産卵が確認されており、これらを餌とするアオダイショウ、シマヘビなどの爬虫類、マガモなどの水鳥も見られている。非湛水部の草本群落ではサシバの採餌が確認されており、土手のススキにはカヤネズミの球巣が確認されている。

【目標】

- ・耕作放棄された水田において、草刈りなどの農地管理を再開、継続することによる、水田及びその周辺の生物多様性の向上に寄与すること。
- ・耕作放棄地の管理手法および評価指標の検討を行い、ネイチャーポジティブの場として耕作放棄地を活用するロールモデルを作ること。

【主な活動内容】

湛水部では、適度な水位を維持する。水生植物の繁茂状況に応じて除草を行う。

非湛水部では、適度な湿地状態を維持する。草刈りを定期的に行うことで低茎草本の環境を維持する。

土手部では、場所の状況に応じて、高径草本や灌木、低茎草本にゾーニングする。草刈りなどの維持管理を行い、必要に応じて畔の補修などを行う。

【モニタリング計画】

植物、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、魚類、底生動物を対象とする。

サイト内全域およびその周辺50mの範囲

直接観察、フィールドサイン、任意採集

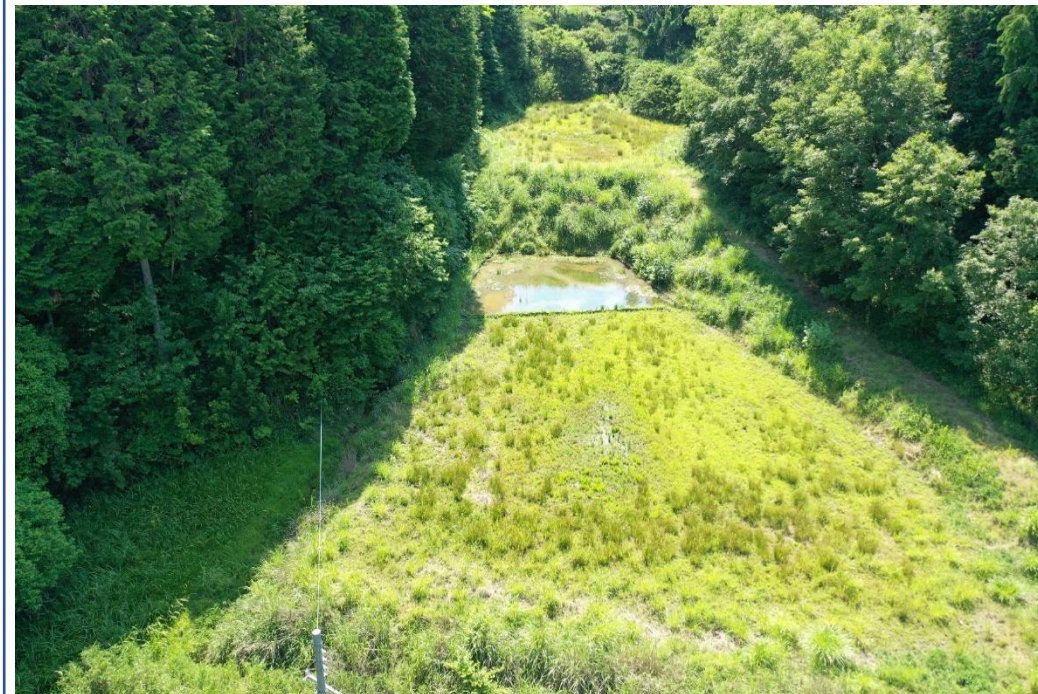
年度内に1回以上、調査対象に応じた適切な時期に実施する

環境計測株式会社の社員が中心となって実施する。

【実施体制】

環境計測株式会社が中心となってこれら保全・利用活動その他維持管理作業を行う。

本活動内容は2年に1回点検するとともに、5年に1度程度改定する。



【計画期間】

2025年9月～2030年8月